

銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

| | |
|-------------------------------------|--------|
| Name 国士無双 | e-mail |
| Title | |
| Message | |
| <input type="text"/> | |
| <input type="button" value="とうこう"/> | |

[2003] 『鬼哭啾啾(きこくしゅうしゅう) 「樂園」に帰還した私の家族』 2010年8月8日 14時24分

レオンさん e-mail

最近、辛淑玉(シン・スゴ)さんの『鬼哭啾啾(きこくしゅうしゅう) 「樂園」に帰還した私の家族』(解放出版社)を読みました。この本は、1日か2日くらいで読めました。

この本は、とてもいい本です。この本を読んで、私にも韓国・朝鮮の人たちの気持ちが少しだけ分かったような気がしました。

私がNHKだったら、この本を朝の「連続テレビ小説」化するか、日曜日の「大河ドラマ」化するかも知れません。

[2002] 『前略、離婚を決めました』 2010年8月7日 20時30分

レオンさん e-mail

最近、綾屋紗月(あやや・さつき)さんの『前略、離婚を決めました』(理論社)を読みました。この本は、1日くらいで読めました。

綾屋紗月さんの夫は、アルコール依存症だったそうです。綾屋紗月さんは、さらに夫のDV(ドメスティック・バイオレンス)に悩まされたそうです。綾屋紗月さんは、アスペルガー症候群(AS)と診断されたそうです。

この本を読んで、私にも女の人の気持ちが少しだけ分かったような気がしました。この

本のことを人に話したら、「レオンさんは、『彼女の作り方』というような本をまず読んだ方がいいんじゃないの」と笑われてしまいました。

みなさん、暑さにやられないように気を付けて下さい。では。

[1996] 知的障害者らの行動理解を 取り押さえ死公判受け集会 2010年8月1日 19時13分

レオンさん e-mail

インターネットの「47NEWS」に、次のニュースが載っていました。

知的障害者らの行動理解を 取り押さえ死公判受け集会

佐賀市で2007年9月、知的障害がある安永健太さん＝当時(25)＝が警察官に取り押さえられた後に死亡した事件の初公判が29日に佐賀地裁で開かれたことを受け、障害者団体の関係者らが30日、知的障害者らの行動に理解を呼び掛ける集会を都内で開いた。

集会には約280人が参加。冒頭、安永さんの父、孝行さん(49)が「警察官に障害者への理解がなかったから事件が起きた」と話し、真相究明に向けた支援を求めた。

安永さんは自転車で蛇行運転して信号待ちのミニバイクに衝突、駆け付けた5人の佐賀県警警察官に押さえられ、搬送先の病院で死亡したとされる。

集会では、知的障害のある人や自閉症の人が突然体を触られパニックとなり暴れてしまう例や、東京都町田市に住む障害者の親らがパニックへの対処法を記した紙を商店街で配布している取り組みなどが報告された。

2010/07/30 17:47 【共同通信】

知的障害者らの行動理解を 取り押さえ死公判受け集会-47NEWS(よんななニュース)

<http://www.47news.jp/CN/201007/CN2010073001000688.html>

……「警察官は、人を殺しても無罪だ」などというのは、絶対におかしい、と私は思います。

[1995] 「あいつらよりはまだマシだ」 2010年8月1日 17時39分

レオンさん e-mail

『いのちの食べかた』(森達也著、理論社)に、次の文章が載っていました。以下に、引用します。

部落差別が明治以降も残ってしまった理由は、日本が他の欧米諸国に追いつくために、彼らを労働力として利用したという側面も、たしかにあったらうと僕も思う。安い賃金で働かされる労働者たちの不満のはけ口として、残されたという見方も間違いではないだろう。でもそれだけじゃない。もっともっと、言葉にできないニュアンスがたくさんあったはずだ。

責任はそんな政策を考えた国家だけじゃない。当時の僕らが、差別する誰かを必要としたからだ。
(94ページ)

……ある「精神障害者」の共同作業所で、人を差別する会話(例えば、セクシュアル・マイノリティを差別する会話など)がとびかっているのは、何故でしょうか。「自分たちは、あいつらよりはまだマシだ」と思うことによって、自分たちが「精神障害者」として差別されていることを一時的に忘れようとしているせいかも知れません。

[1993] ブルーアイズさんありがとうございます(^_^) 2010年7月30日 8時4分

国土無双さん e-mail

おはようございます、国土無双です。

ブルーアイズさんお気持ちありがとうございます。
まだ、体調がすぐれないのできちんと体調が整い、主治医から許可が出て就労意欲が湧いたら求職活動します。
今回は、会社の方も理解があり迅速に対応して頂き感謝してます。
ブルーアイズさんも、頑張り過ぎないようにホドホドにお仕事なさって下さい。
目の前のことを一つ一つこなしていくのが現在の目標です。
あとは、気分転換してノンビリとリハビリ。。。
銀杏も義務的には通わず、自分のペースで利用させて頂くつもりです。
銀杏の職員の言動にもストレスを感じるのはいはり病状が悪い証拠でしょう。
楽しみを見つけて、人生楽しくなるように気楽に考えます(^_^)
この掲示板も私にとっては楽しみの一つなので、利用させて頂きます。
障害者問題の書き込みも私の得た情報をアウトプットする作業で同じような書き込みばかりですが、ご容赦下さい<m(_)_m>
ではでは、良い週末を！！(今日はこれから作業所ですが・・・)

[1992] サザンの桑田さんが・・・ 2010年7月29日 20時57分

ブルーアイズさん e-mail

こんばんは。たびたびブルーアイズです。

ああ・・・サザンの桑田さんが食道がんに・・・

お体のほう、お大事にとしか言いようがありません・・・

[1991] しばらくはのんびりと 2010年7月29日 19時42分

ブルーアイズさん e-mail

こんばんは。ブルーアイズです。

国士無双さん、レオンさん、いつも障害者関係の情報を書き込んでいただきありがとうございます。世の中にうとい私にとっては貴重な情報源です。

ところで国士無双さん、会社をとうとう退職なさったのですか。かなりつらい経験をなさったようで、しばらくは銀杏でごゆっくりなさって英気を養って次の職場を探してください。

私の上司に国士無双さんをぜひ推薦したいところですが、すでに実習に来ている皆さんがいたりして障害者枠はその人たちでうまりそうなのであしからず。(^^)

待遇の良い会社に勤められるかどうかはこれらご縁というものしか考えられず私の場合はたまたま運が良かったとしか言いようがないです。国士無双さんもいろいろご苦労なさったのですから今度は良い会社とご縁があることを祈って(一人一)います。

・・・という私もこのごろ仕事に慣れてきたせいか、ちょっと複雑な仕事も頼まれるようになって来ました。そのうち今の同じ障害を持つ仲間と働ける部署から、一般の人と机を並べてかなりストレスのかかる仕事もやらなければならなくなるかもしれません。私の今後もどうなるかわからない状態です。

あまり面白くもおかしくもない書き込みでどうもすみませんがご勘弁ください。

それではみなさん明日もがんばってよい週末を迎えましょう。

[1990] 障害者取り押さえ死 初公判 2010年7月29日 17時50分

レオンさん e-mail

NHKオンラインに、以下の記事が載っていました。

佐賀県のニュース
佐賀放送局
障害者取り押さえ死 初公判

3年前、佐賀市の路上で知的障害のある男性が警察官に取り押さえられた直後に死亡した問題で、男性に暴行を加えてけがをさせたとして特別公務員暴行陵虐致傷の罪に問われている警察官の初公判が佐賀地方裁判所で開かれ、警察官は無罪を主張しました。

この問題は3年前の9月、佐賀市の路上で知的障害のある安永健太さん(当時25)が自転車で帰宅している途中に警察官5人に取り押さえられた直後に死亡したものです。

遺族の告訴に対して検察庁は5人の警察官を不起訴処分としましたが、遺族からの付審判請求を受けて去年、佐賀地方裁判所は5人の警察官のうち巡査長の松雪大地被告(29)について安永さんに暴行を加えてけがをさせたとして特別公務員暴行陵虐致傷の罪で「審判」と呼ばれる裁判を開くことに決めました。

29日は佐賀地方裁判所で初公判が開かれ、検察官の役を務める弁護士の「安永さんの抵抗を抑止するため胸や首を殴打してけがをさせた」とする主張に対し、松雪被

告は「殴打したことはなく、けがもさせていない」と述べ、全面的に否認しました。

また、松雪被告の弁護側は「安永さんの傷は圧迫でできるもので、殴打によるものではない」として無罪を主張しました。

07月29日 13時57分

障害者取り押さえ死 初公判-NHK佐賀県のニュース-

<http://www.nhk.or.jp/lnews/saga/5083039111.html>

……「警察官は、人を殺しても無罪だ」などというのは、絶対におかしい、と私は思います。

[1989] 障害者の全国実態調査案、猛反発で見直しへー総合福祉部会③ 2010年7月28日 21時3分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

先程の記事の続きです。

■「障害」種別を列記せず

また部会では、「障害」の範囲や「障害程度区分」などについて議論。障害種別を列記して障害の範囲を決める手法を取らない「包括的規定」を目指すことや、障害程度区分を廃止して新たに障害者の支援に必要な客観的な評価手法について議論するとの方向性が示された。

今後は9月までに2回、論点の問題意識を共有するための会合を開く。10月からは論点別に作業チームを設けて各論を詰め、これをベースに来年4月からまともに入り、8月に骨子を固める方針。

(2010年07月27日 22:59 キャリアブレイン)

精神障害者を殺す調査だというのは私には良く分かりませんが、そのように訴える「精神病患者集団」なる団体、内閣府の「障がい者制度改革推進会議」に参加してるからには、真摯に精神障害者のことを考えてくださっている団体のようなのでね。統合失調症に関してはストレスに対する耐性が極端に弱くなる病気との事。。。健常者の何気ない言動が精神障害者にとってはかなりのストレスになっていることは間違いないですね。。。。

私の場合、作業所の職員さんでも上から目線で何か命令する職員さんには強いストレスを感じます。

それだけ、病状が悪いということかもしれません。。。しばらくはノンビリ、リハビリです。。。トホホ。。。。

下らない書き込みで勘弁を。。。。

[1988] 障害者の全国実態調査案、猛反発で見直しへー総合福祉部会② 2010年7月28日 20時53分

国土無双さん e-mail

国土無双です。

先程の記事の続きです。

また、在宅の障害者を対象とし、施設や病院に入所あるいは入院している障害者を対象外としたことについて、複数の委員が「在宅だけでは障害者の実態を把握できない」と反対した。

これに対し、精神障害者の調査方法に配慮する一方、新法策定に向けた基礎調査となるため、在宅の障害者を対象に「早期実施を優先すべき」とする意見もあった。

調査方法の検討メンバーでもある佐藤久夫部会長(日本社会事業大教授)は、調査方法は「見直しが必要だろう」とし、事務局を務める厚生労働省は「一意見として受け取り、さらに議論する」とした。

■山井政務官「ねじれ国会も超党派で一致へ」

部会では冒頭、山井和則厚労政務官があいさつ。「ねじれ国会になってしまったが、障害者福祉は党派を超えて一致できる」と述べ、参院選で民主党が大敗した後の障害者福祉政策で野党との連携を深める意向を示した。また、「天下りなどの無駄を徹底してカットし、障害者福祉の予算が増えるように頑張る」と述べた。

次に続きます。

まえのページ

あたらしいページ

パスワード

削除番号

2003



記事削除

powered by **du one**
NET